

【総合的な学習の時間】

■児童の状況	・日常生活の中から自ら課題を見付け出すことができない児童が多い。 ・集めた情報から、必要なものを選択し、まとめていくことに困難を感じる児童もいる。
■指導についての課題	・児童が主体的に意欲的に関われる課題の設定が必要である。 ・発達段階に応じた情報の取捨選択、活かし方を指導していく必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・生活科と合わせて、系統的に子どもの探究心を高めるために日常生活に即した課題を設定することで、児童が主体的に学習できるようにする。 ・学びの中に体験的な学習や見学を取り入れ、自らの課題に取り組ませる。 ・地域の人材も含め、児童の関心に応じた外部講師や出前授業を効果的に取り入れていく。 ・板橋区立図書館と連携していく。